

令和7年7月11日
滋賀県信用組合

第16回 経営諮問会議の概要について

当組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者で構成される「経営諮問会議」を設置しております。本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第16回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

記

1. 開催日 令和7年2月7日（金）

2. 場所 当組合 草津支店 会議室

3. 出席者

（経営諮問委員）〈順不同、敬称略〉

鳥居 直隆 （滋賀県民信用組合 元副理事長）

藤田 義嗣 （一般社団法人 滋賀経済産業協会 相談役）

片山 聡 （オアシス法律事務所 弁護士）

（滋賀県信用組合）

青木 和夫 （理事長）

平岡 博之 （常務理事）

松田 浩一 （常勤理事）

白川 昌一 （執行役員）

4. 青木理事長挨拶要旨

本日は誠にありがとうございます。

さて、令和6年度仮決算の概要については、貸出金は順調に伸びていますが、金利のある世界となって、預金の方では個人預金、特に個人定期が3月末比較で、減少しているという点が反省点です。

収益面では、4月に初任給を引き上げ、人件費が半期で12百万円ほど増えていますが、貸出金利息の増加等により、コア業務純益はおかげさまで180百万円、目標を32百万円上回っています。

役務収益も、不動産手数料収入やビジネスマッチング手数料、特に不動産の手数料については、12月末でも42百万円で昨年の2倍の23百万円増加しています。こういったところが大きく収益に寄与しています。

7年3月末の決算見込みにつきましても、今のところコア業務純益も3億数千円ということで、計画を上回る見込みです。

本日は、経営強化計画をはじめ、皆様より今後の積極的なご意見・ご指導の方を賜りたく、短時間ではございますが、有意義な議論の場と致したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

5. 当組合からの説明内容

平岡常務理事より以下の内容について説明いたしました。

- ・令和6年度仮決算概況
- ・経営強化計画の進捗状況

4. 意見交換要旨

(1) 出席委員の皆様から以下のご意見、ご提言をいただきました。

- ・中小企業も前年に引き続き賃上げを行っており、政府の要望もある中で、組合としても、ある程度応えていかなければならないのではないかと。
- ・企業が給与を上げようとするとうまくは価格転嫁せざるを得ない。すると大変なインフレになってくる。価格支配権を持たない中小企業にとっては厳しい。大変な時代になってくるが、変化をチャンスととらえ生き残りをかけた戦略でやらないといけない。組合も取引先を助けて、それをプラスにしていく工夫をしていく必要がある。
- ・経営強化計画の目標も全て達成しており素晴らしい。今後もこの流れを継続してもらいたい、今は過去の歴史にない大きな変革期に差しかかっている。その中で、組合は知恵を出して地域の産業のニーズに応えていくながら、組合としての強みを出して頂きたい。
- ・日本は、経済的な地位を落としているが、まだ文化力だけは高い。そこを生かして新たな力に変えて行けるように皆で頑張っていけたらと思う。

(2) 青木理事長からの回答

貴重なご提言を頂きまして、ありがとうございます。

頂いたご意見は対応可能なものから順次進めてまいりたいと思います。

今後ともご支援ご指導宜しくお願い申し上げまして、お礼に代えさせて頂きたいと思ひます。

以上